

現代社会と差別

現在、日本では「ヘイトスピーチ」をめぐる法規制が検討されています。

人種・宗教・性別をめぐる差別が、あらためて問われようとしている状況です。

そこで本年度のオープンカレッジは「現代社会と差別」をテーマとし、ハンセン病・ジェンダー・エスニシティ・隣国との関係などについて、学内外4人の先生方からお話をいただきます。どうぞ参加ください。

[日時] 平成26年 **10/25** **土** [15:00 ~ 17:20] ・ **11/1** **土** [9:15 ~ 12:10]

[会場] 土樋キャンパス8号館4階 841教室

入場無料

オープンカレッジ 講座スケジュール

Lecture

第1回

10月25日(土)

[15:00~15:05]

開講式

本学社会福祉研究所主事 さいとう やすのり
齊藤 康則

[15:10~16:10]

市民社会の問題としてのハンセン病問題
——当事者の声に耳を傾けて

本学共生社会経済学科准教授
くろさか あい
黒坂 愛衣



[16:20~17:20]

司法におけるジェンダーバイアスと
裁判員制度

本学共生社会経済学科准教授
こみや ともね
小宮 友根



この講座はどなたでも受講できます。申込み等は
必要ありませんので、直接会場にお越しください。

オープンカレッジ 講座スケジュール

Lecture

第2回

11月1日(土)

[9:15~10:15]

ジェンダーとエスニシティ

——「同じ人間」ではないのか？

プロフィール

社会学、ジェンダー、エスニシティ、地域研究を専門とする。

[著書]

『(家)の開放と開かれる(民族)』、『新編日本のフェミニズム 9 グローバリゼーション』、社会学事典他多数



大妻女子大学人間関係学部教授 ちよん よんへ
鄭 暎恵 氏

[11:00~12:00]

第二次安倍晋三政権と差別社会

——「従軍慰安婦」問題と嫌韓嫌中意識

プロフィール

日本近代小説(表現論・文体論)、近代日本の言語態分析、現代日本の小説と批評を専門とする。

[著書]

『越境する知5 文化の市場:交通する』、『越境する知6 知の植民地:越境する』他多数



東京大学大学院総合文化研究科教授 こもり よういち
小森 陽一 氏

[12:05~12:10]

閉講式

本学共生社会経済学科長 かく きかん
郭 基煥